

FUJIIRYŌKI

取扱説明書

このたびは当社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。
この説明書には、ご使用になる上で大切な事項が記載されております。ご使用前に必ずお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後は、別紙「保証書」とともに大切に保存してください。

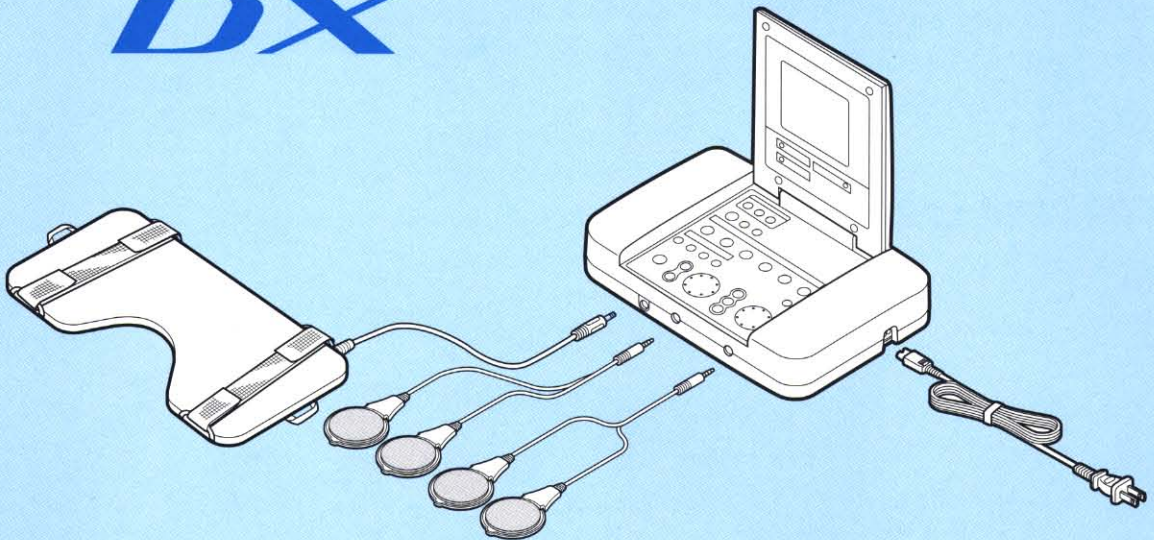
器具器械78家庭用電気治療器
医療用具承認番号
21500BZZ00627000号

組合せ家庭用電気治療器
(低周波治療器・温熱治療器)

パルスドック

PULSE DOC DX

品番：PD-M68



本器は医療用具として製造承認を受けており、以下の効能効果が認められています。

- 低周波治療 : 肩のこりをほぐす、末梢神経麻痺の症状をやわらげる
マッサージ効果(血行をよくする、疲労回復、筋肉痛・神経痛の痛みの緩和
筋肉のこりをほぐす、筋肉の疲れをとる)
- 温熱治療 : 温熱効果(血行をよくする、疲労回復、筋肉痛・神経痛の痛みの緩和、
筋肉のこりをほぐす、筋肉の疲れをとる、胃腸の働きを活発にする)

※PL (製造物責任) に関する事項が記載してあります。必ずお読みください。




目次

安全のために必ずお守りください	4
特長	9
低周波治療・温熱治療について	10
各部のなまえ	11
ご使用前の準備	13
治療の種類	17
治療導子の貼りつけ例	18
温熱マットの使用例	20
操作パネルの機能	21
治療導子によるヒータと予熱機能	22
治療導子による低周波治療機能（自動コース）	23
治療導子による低周波治療機能（手動選択）	25
マイメモリーを使う	29
治療導子による温熱治療機能	31
治療導子による低周波治療と温熱治療の交互治療機能	32
温熱マットによる温熱治療機能	33
治療が終わったら	36
お手入れと保存	37
故障かな…と思ったら	40
アフターサービスと保証	42
仕様	43

安全のために必ずお守りください








シンボルマークの解説

下記のシンボルマークが付いている文書は、お客様の安全確保のためのものです。必ずお読みいただき、指示にしたがってください。

	危険度の目安
 危険	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害の程度を示しています。
 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

お願い 機器の故障を防ぐなどの目的の事項を示しています。

表示マークの説明

マーク	タイトル	意味
	一般	特定しない一般的な警告・注意を示す。
	一般	取扱い行為の禁止を示す。
	一般	使用者に行為の強制を示す。
	水ぬれ禁止	本器を水がかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用すると漏電によって感電や発火の可能性がある場合の禁止の表示。
	ぬれ手禁止	本器をぬれた手で扱うと感電する可能性がある場合の禁止の表示。
	電源プラグをコンセントから抜く。	使用者に電源プラグをコンセントから抜くように指示する表示。
	分解禁止	本器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の表示。

⚠ 危険



下記のような医用電子機器との併用は、誤動作を招く恐れがあるので、絶対に使用しないでください。

- ペースメーカーなどの体内植込み型医用電子機器
- 人工心肺などの生命維持用医用電子機器
- 心電計などの装着型医用電子機器

⚠ 警告

次の方は使用をさけるか、必ず医師にご相談の上ご使用ください。
事故や体調不良を起す可能性があります。

- 急性(疼痛性)疾患の人
- 悪性腫瘍のある人
- 心臓に障害のある人
- 安静を必要とする人
- 皮膚知覚障害、又は皮膚に異常のある人、低温やけどをしやすい人
- 医師の治療を受けている人や、特に体に異常を感じているとき
- 感染症疾患のある人
- 熱の高い人(38℃以上)
- (生理中や)妊娠している人
- 自分で意思表示できない人

本器の使用により、発疹・発赤・かゆみ等の症状があらわれた場合には、使用を中止して医師に相談してください。

お年寄りには必ず同伴者をつけて使用してください。
事故や体調不良を起す恐れがあります。

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不十分ですと感電、発火の原因になります。

治療導子の電極には、必ず専用の粘着パッドを正確に貼りつけて使用してください。やけどや低温やけどを起す恐れがあります。

温熱治療をする場合は、次のことに注意してください。
やけどや低温やけどを起す恐れがあります。

- 連続して同一の部位に30分以上使用しないでください。
- 治療導子をつけた部位を押さえつけないでください。
- 温熱治療を5分ほどしてもあたたかく感じないときは、すぐに治療を中止してください。
- 「熱い」と感じたときは、すぐに治療導子または温熱マットをはずしてください。
- 治療導子または温熱マットを貼りつけたまま、タオル等を巻きつけたり、毛布や布団の中で使用するなど熱のこもる状態で使用しないでください。
- 温熱治療中に電源を入/切しないでください。

治療導子にネックレスなどの金属が触れないようにしてください。
急激な刺激の原因になります。






心臓の近く、頭部、顔、口や陰部、皮膚疾患部などには使用しないでください。
事故や体調不良を起す恐れがあります。

乳幼児や子供には使用しないでください。
事故や体調不良を起す恐れがあります。



安全のために必ずお守りください

⚠ 警告



	<p>他の治療器と同時使用や塗布剤(スプレー式等含む)との併用はしないでください。 気分が悪くなったり、体調不良を起す恐れがあります。</p>
	<p>専用のACアダプター(型式:KH-800)以外は使用しないでください。 事故や故障、やけどの原因になります。</p>
	<p>同一部位に30分以上使用しないでください。 また、連続した同一部位への治療は、5分以上あけてください。 治療部位の筋肉が疲労し、体調不良を起す恐れがあります。</p>
	<p>取扱説明書に記載されている治療以外の目的には使用しないでください。 事故やトラブル、故障につながる恐れがあります。</p>
	<p>治療導子・温熱マットや電源コードの差し込み口にピンや針金、金属などの異物を入れないでください。感電や故障の原因になります。</p>
	<p>飲酒時や睡眠薬を飲んだときは使用しないでください。 やけどや低温やけどを起す恐れがあります。 事故の原因になります。</p>
	<p>治療導子や温熱マットを強く折り曲げたり、コードを引っ張ったり折り曲げたりしないでください。また治療導子・温熱マットのヒータユニット・粘着パッドは水洗いしないでください。 火災、感電、故障の原因になります。</p>
	<p>眠りながらの使用はしないでください。 本体が故障する恐れがあります。 粘着パッドが思わぬ所に貼りついて体調不良を起す恐れがあります。 低温やけどの恐れがあります。</p>
	<p>温熱マットのマットカバーが破れている状態で使用しないでください。 やけどや低温やけどの原因になります。</p>
	<p>粘着パッドの表面が欠けていたり、くずれている状態で使用しないでください。 強い刺激(低周波治療の場合)を受けたり、低温やけど(温熱治療の場合)の原因になります。</p>
	<p>マットカバーから取り出したヒータユニットだけでの使用はしないでください。 やけどや低温やけどを起す恐れがあります。</p>
	<p>本器の改造、分解、修理は絶対にしないでください。 火災、感電、故障の原因になります。</p>
	<p>濡れた手で電源コードの電源プラグや器具側プラグの抜き差しをしないでください。 感電の原因になります。</p>
	<p>本器は水洗いしたり、水をかけたりしないでください。また浴室など湿気の多い場所で使用しないでください。 ショート、感電、発火の原因になります。</p>
	<p>お手入れの際は必ず電源コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電、けがの原因になります。</p>

⚠ 注意

!	<p>使用中に気分が悪くなったり、身体に異常を感じたときはすぐに使用を中止してください。 医師に相談して指示にしたがってください。</p>
	<p>本器に異常を感じたときはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてご購入先またはフジ医療器サービス網にご相談ください。 感電やショートによる火災の原因となります。</p>
	<p>治療の途中で他の部位に治療導子を貼り替える場合は、必ず出力強さ調節ダイヤルを「0」に戻してください。 強いショックを受ける恐れがあります。</p>
	<p>治療中、他の人に治療導子を貼り替えないでください。 強いショックを受ける恐れがあります。</p>
⊘	<p>電子機器を装着したまま本器を取り扱わないでください。 腕時計などの時刻が狂う可能性があります。</p>
	<p>本器の近くで携帯電話を使用しないでください。 誤動作をする可能性があります。</p>
	<p>強さはむやみに強くし過ぎないでください。 皮膚を過剰に刺激し、ヒリヒリしたり赤くなることがあります。</p>
	<p>治療導子の粘着パッド部を患部に貼ったまま放置しないでください。 皮膚のかぶれ、炎症を起す可能性があります。</p>
	<p>ACアダプターの電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。 ショート、感電、発火の原因になります。</p>
	<p>治療導子や温熱マットのコードおよび、プラグ部が傷んでいるときは使用しないでください。 ショート、感電、発火の原因になります。</p>
	<p>たこ足配線はしないでください。 発熱して火災の原因になります。</p>
	<p>ベンジン、シンナー、アルコールなどでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。ひび割れ、感電、引火の可能性があります。</p>
	<p>本器の上に乗ったり、物を載せたりしないでください。 事故や故障の原因になります。</p>

安全のために必ずお守りください

⚠ 注意

	<p>温熱マットで温熱治療をする場合は次のことを特に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none">• 犬や猫などペットの暖房用に使用しないでください。 コードを傷め、感電、発火の原因になります。• アイロンは使用しないでください。 熱でマットカバーを傷め、やけどや低温やけどを起す恐れがあります。• 温熱マットを体に強くしぼりすぎないでください。 血行を阻害したり、やけどや低温やけどを起す恐れがあります。• 温熱マットをねじったり、折りたたんだ状態で使用しないでください。 事故や故障の原因になります。• 足で踏みつけたり、お尻の下に敷いたり、重いものを載せたりしないでください。 事故や故障の原因になります。• ヒータユニットを入れたまま、マットカバーを洗ったりしないでください。 事故や故障の原因になります。• 素肌に直接当てて使用しないでください。 やけどや低温やけどを起す恐れがあります。• あんか代わりなど他の目的に使用しないでください。 事故や故障の原因になります。
	<p>使用しないときは、必ず電源コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。劣化による感電や火災の原因になります。</p> <p>電源コードやACアダプターのプラグを抜くときは、コード部分を持たずに必ず先端のプラグ部分を持って抜いてください。 感電やショートして発火の原因になります。</p>

特 長

- **キアズマクロス通電は、メリハリの効いた筋肉の収縮・緩和のもみ刺激が得られます。**

2個の治療導子でクロス貼りした4個の電極により出力波形が交差するところに新たに発生する合成波です。

- **多彩な「もみ波形」を使った「自動コース」を搭載。「肩」「背」「腰」「腕・脚」「関節」と治療の部位が選択できます。**

多彩な「波形」と「速さ」・「極性」をプログラムしていますので、選んだ部位を効果的に治療します。

- **自分で作った「もみ味」を記憶して繰り返し体感できる「マイメモリー」機能を搭載。**

自分で組み合わせた動作モードをマイメモリーに登録させることにより、オリジナルの治療を作ることができます。

新しい刺激で新鮮な心地よさを体感できます。

- **使いやすい大型液晶画面を採用。**

本器の使いかたや、治療導子の貼る位置が簡単にわかるようにアニメーションで表示します。

- **ヒータ付き治療導子による低周波治療と温熱治療を体感することができます。**

「低周波治療」、「温熱治療」、「低周波治療と温熱治療の交互治療」、「粘着パッドを温めながらの低周波治療」ができます。

また、粘着パッドを貼ったときの「ヒンヤリ」とした感触をなくするための「予熱」をおこなうことができます。

- **温熱マットにより温熱治療ができます。**

治療したい部位に容易に取りつけできる固定バンドつきです。

- **携帯・収納に便利なセミソフトケース付き。**

温熱マットおよび治療導子コードリール・粘着パッドが収納できる収納ポケットがついています。取扱説明書も収納できます。

低周波治療・温熱治療について

■低周波治療とは

人間の身体には脳や心臓・神経からの電気信号を伝えるごく弱い電流が流れていて、体の機能をコントロールしています。

この電流がスムーズに流れないと筋肉が硬くなり、血行不良による痛みやこりが生じます。低周波のやさしい電流を皮膚の外部から与えることにより神経が刺激され、硬くなった筋肉の動きを活発化し血行をよくして痛みやこりなどの治療をおこなうのが低周波治療です。

低周波治療の作用

● 筋肉のマッサージ効果

低周波の電流により筋肉が収縮と弛緩を繰り返し、血行をよくします。

※ 低い周波数の特性

筋肉のこりや痛みの緩和に効果が有るとされています。

※ 高い周波数の特性

低い周波数に比べて痛みに対する緩和作用が優れているとされています。

効能効果

1. 肩のこりをほぐす

2. マッサージ効果

(・ 血行をよくする ・ 疲労回復 ・ 筋肉痛・神経痛の痛みの緩和 ・ 筋肉のこりをほぐす)

(・ 筋肉の疲れをとる)

3. 末梢神経麻痺の症状をやわらげる

■温熱治療とは

身体に熱を加えると、熱の刺激を受けて血管は拡張しようとし、血液の流れが良くなっていきます。

この生理作用を利用したものが温熱治療です。

温熱治療の作用

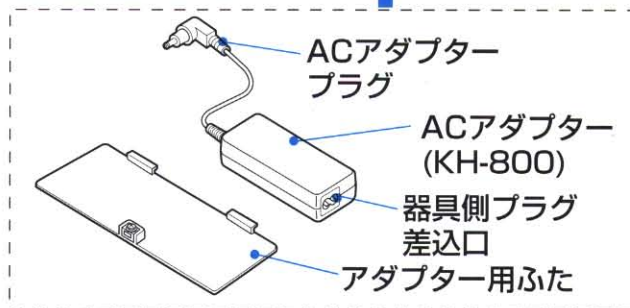
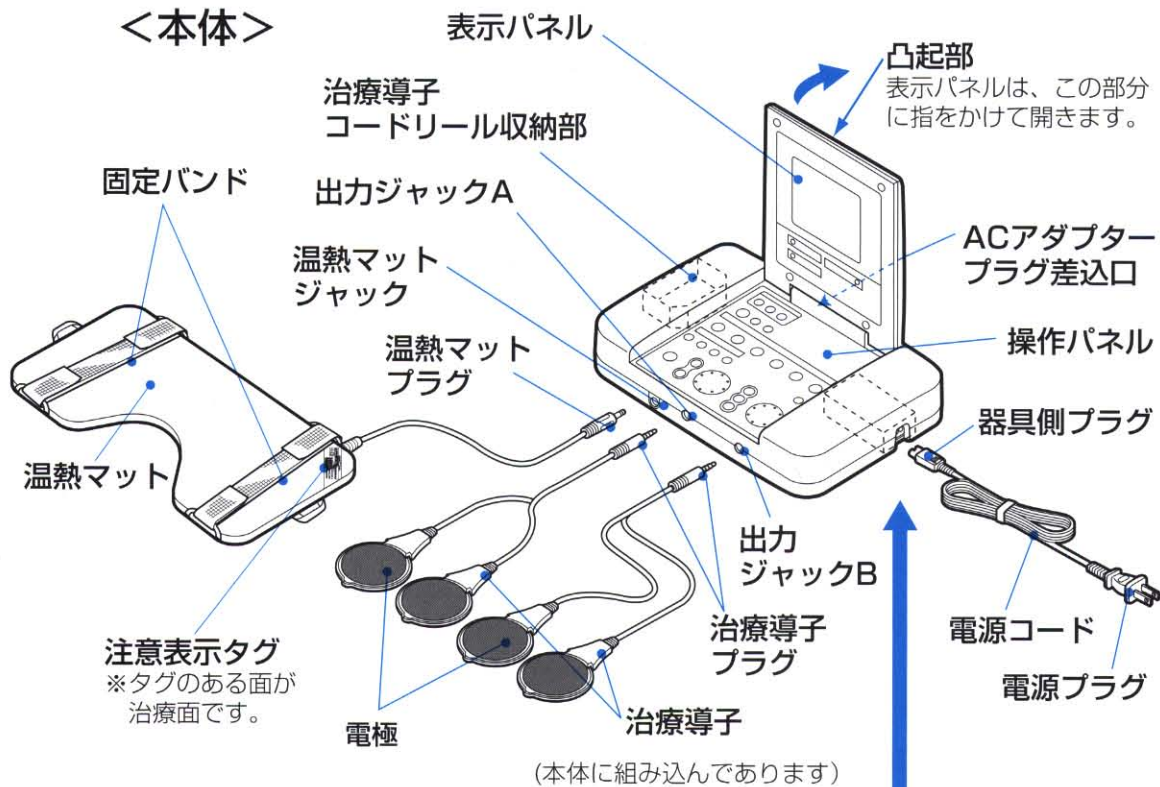
新陳代謝を促進し血行をよくします。

効能効果

1. 温熱効果

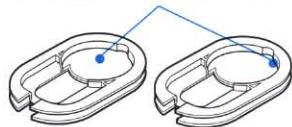
(・ 血行をよくする ・ 疲労回復 ・ 筋肉痛・神経痛の痛みの緩和 ・ 筋肉のこりをほぐす)

(・ 筋肉の疲れをとる ・ 胃腸の働きを活発にする)



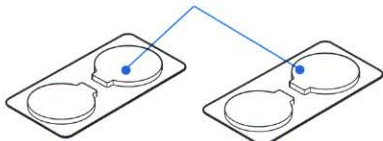
<付属品>

治療導子コードリール (2個)



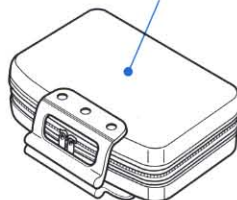
- 治療導子を巻きつけ、収納・保存用として使用します。

粘着パッド4枚入り (2個)



- 治療導子の電極に貼り、治療部位との固定用として使用します。

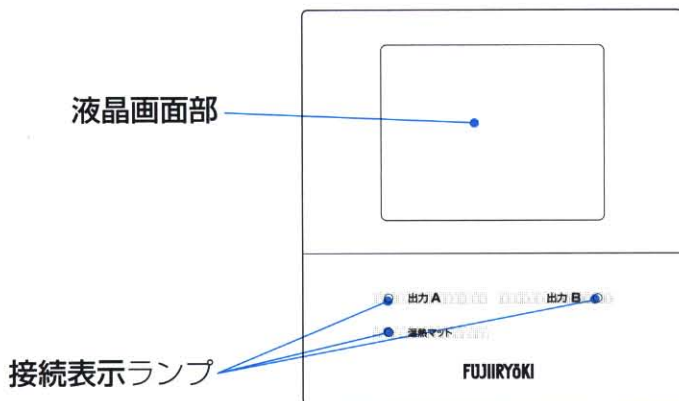
セミソフトケース



- 本体の保存・携帯用としてご利用ください。

各部のなまえ

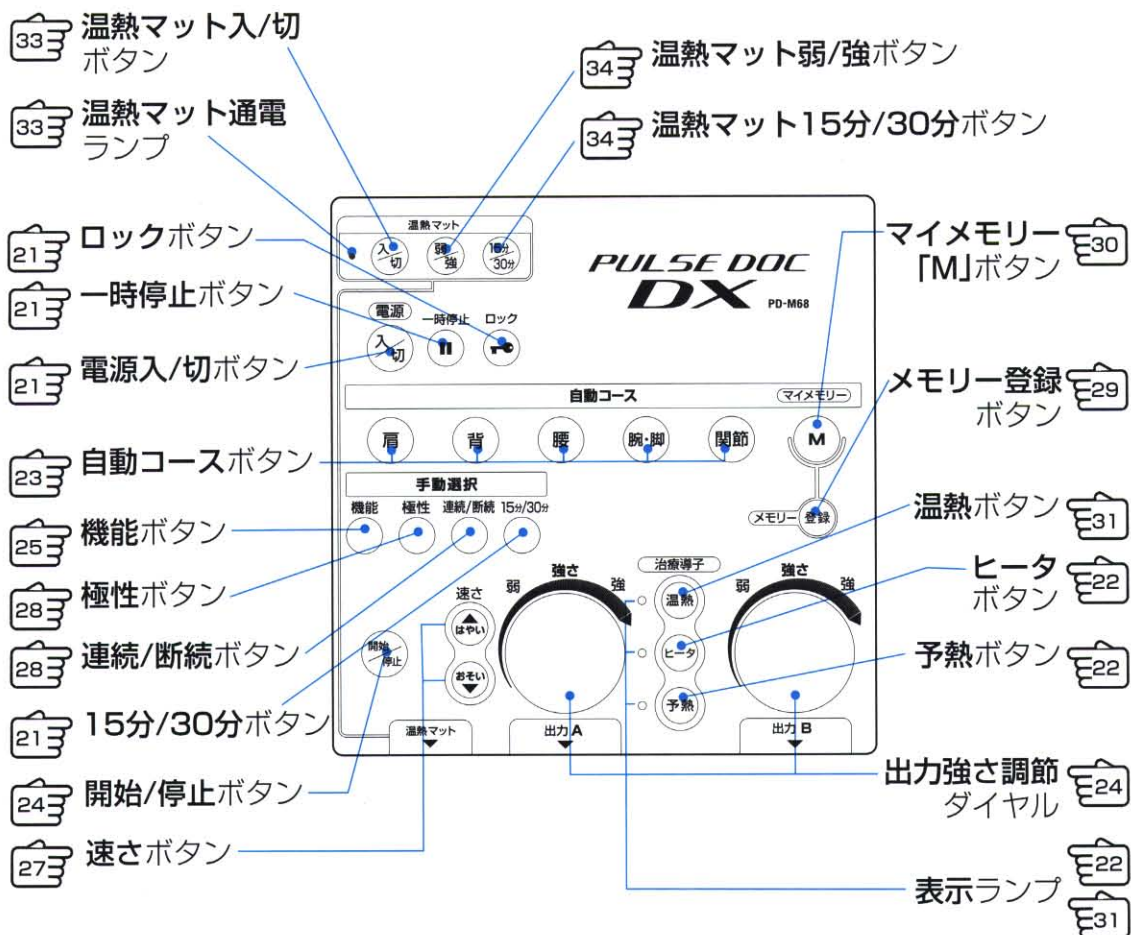
<表示パネル>



<操作パネル>



のなかの数字は説明のあるページを示します。



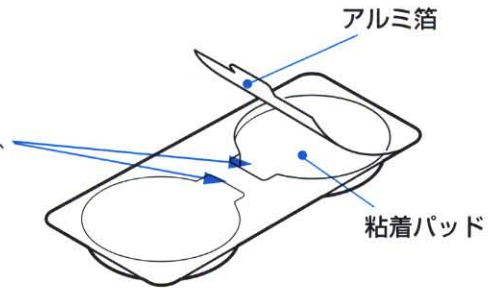
治療導子をお使いになる場合

●粘着パッドを治療導子の電極に貼りつけます。

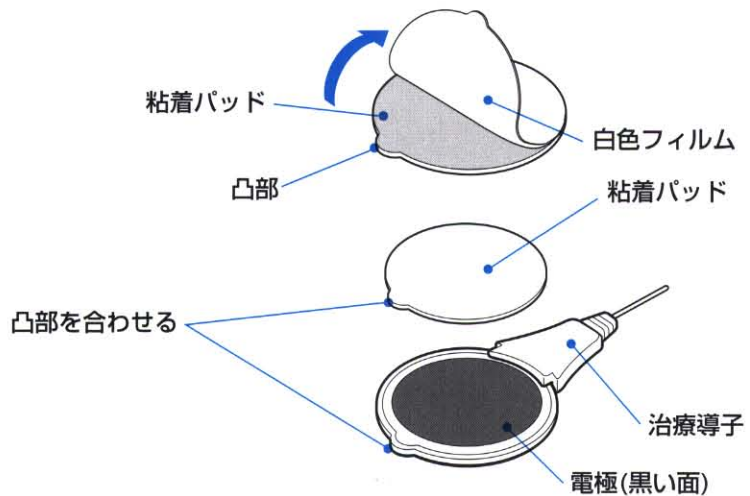
(初めてお使いの場合)

- ① 付属の粘着パッドをパックの中から取り出します。(1パックに4枚入っています。)

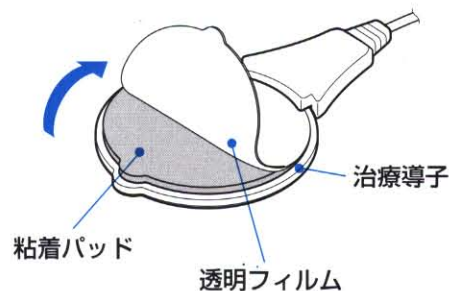
この飛び出した部分を押ししてアルミ箔を破り、剥がしてください。



- ② 粘着パッドの白色フィルムを凸部側から剥がして治療導子の電極(黒い面)に凸部の形を合わせて貼りつけます。



- ③ 粘着パッドのもう片方の、透明フィルムを剥がします。



(粘着パッドを交換する場合)

1. 治療導子の電極から粘着パッドを剥がします。
2. 上記①から③の要領で新しい粘着パッドを貼りつけます。

ご使用前の準備

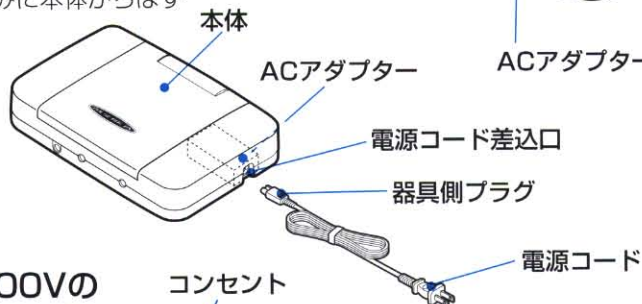
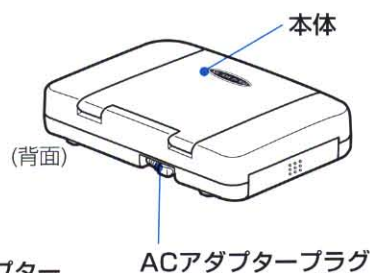
治療導子をお使いになる場合

1 電源コードを本体内蔵のACアダプターに接続します。

- 本体背面にあるACアダプタープラグがしっかり差し込まれていることを確認してください。

お願い

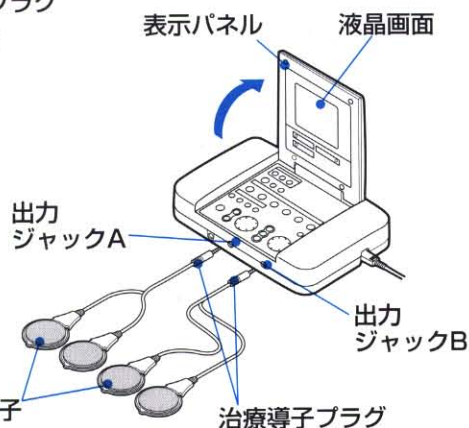
ACアダプターは、むやみに本体からはずさないでください。



2 電源プラグをAC100Vのコンセントに接続します。



3 表示パネルを開きます。



4 電源が切れていることを確認します。

- 電源が切れているときは、液晶画面に何にも表示されません。

5 治療導子を出力ジャックに接続します。

- 治療導子プラグを本体の出力ジャックAまたはBに差し込んでください。
2カ所同時に治療する場合は出力ジャックAとBの両方にそれぞれ差し込んでください。

ご注意

- 治療導子と温熱マットによる同時・交互治療はできません。
- 治療導子の接続が不十分な場合、接続表示ランプが点灯しません。

警告

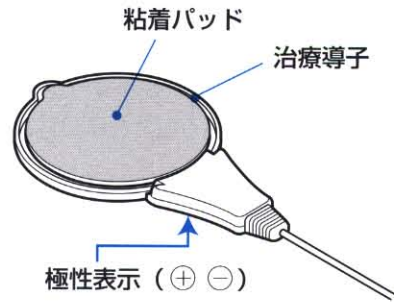
治療導子のコードを引っ張ったり、折り曲げたりしないでください。
また治療導子と粘着パッドは水洗いしないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

注意

治療導子のコードおよびプラグ部が傷んでいるときは、使用しないでください。
ショート、感電、発火の原因になります。

6 身体に治療導子の粘着パッド面を貼ります。

- ① 治療導子には極性が表示してあります。
○極の治療導子を治療する部位に貼りつけるとより効果的です。
- ② 貼りつける位置は18～19ページの「治療導子の貼り付け例」を参照してください。
 - 自動コースを選択されますと、表示パネルで貼り付け位置を説明します。

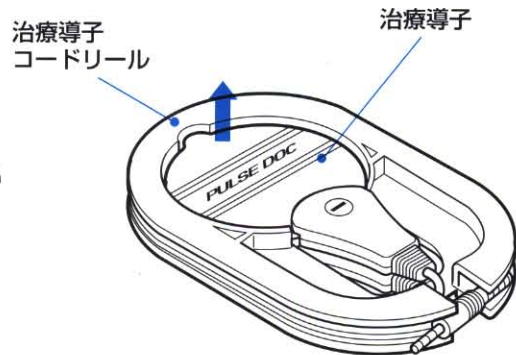


お願い

- 粘着パッドの表面に油分や汗がつくと粘着力が低下します。必ずお肌の汚れや汗などをふき取ってからお使いください。
- 粘着力が低下したら、37ページの「お手入れ方法」に従いお手入れしてください。
- お風呂あがりなど体が濡れているときは、粘着パッドを貼り付ける部分の水分をふき取ってください。
- 粘着パッドはなるべく指で触らないようにしてください。
- 粘着パッド同士をくっつけないでください。
- 粘着パッドは水洗いしないでください。(37ページのお手入れ方法をご覧ください。)

- ③ すでにお使いの場合は、治療導子を治療導子コードリールからはずして身体に貼ります。

- 治療導子に貼りつけた粘着パッドが剥れないようにゆっくりとはずしてください。



警告

治療導子を強く折り曲げたり、治療導子のコードを引っ張ったり折り曲げたりしないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

ご使用前の準備

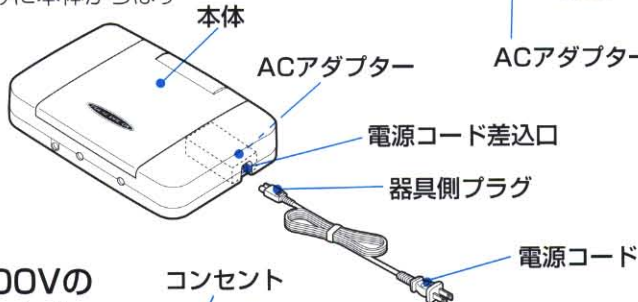
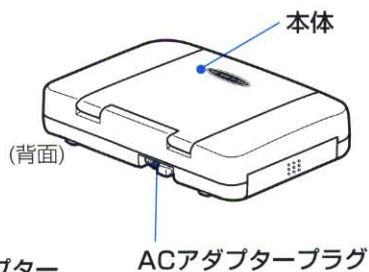
温熱マットをお使いになる場合

1 電源コードを本体内蔵のACアダプターに接続します。

- 本体背面にあるACアダプタープラグがしっかり差し込まれていることを確認してください。

お願い

ACアダプターは、むやみに本体からはずさないでください。



2 電源プラグをAC100Vのコンセントに接続します。



3 表示パネルを開きます。

4 電源が切れていることを確認します。

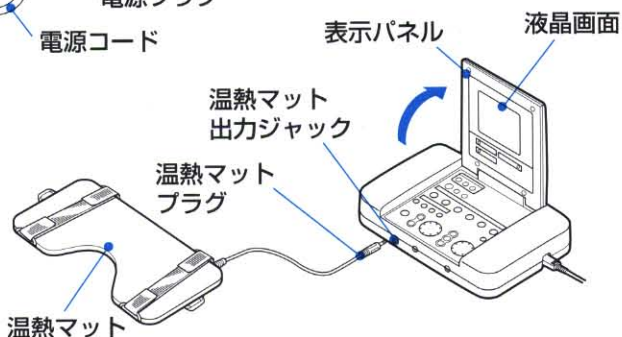
- 電源が切れているときは、液晶画面に何にも表示されません。

5 温熱マットを出力ジャックに接続します。

- 温熱マットプラグを本体の温熱マット出力ジャックに差し込んでください。

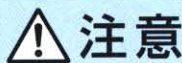
ご注意

- 治療導子と温熱マットによる同時・交互治療はできません。
- 温熱マットプラグの接続が不十分な場合、接続表示ランプが点灯しません。



警告

温熱マットのコードを引っ張ったり、折り曲げたりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。



注意

温熱マットのコードおよびプラグ部が傷んでいるときは、使用しないでください。ショート、感電、発火の原因になります。

6 身体に掛けたり固定バンドで固定します。

- 使用する位置は、20ページの「温熱マットの使用例」を参照してください。

治療の種類

治療導子の場合

●低周波治療

低周波治療には、治療部位に適した動作モードを組み合わせた自動コースとお好みの機能を選べる手動選択があります。

(1) 自動コース選択 (詳しくは23ページをご覧ください。)

効果的なプログラムにより治療ができる「肩」、「背」、「腰」、「腕・脚」、「関節」の5つのモードがあります。

「肩」、「背」、「腰」、「腕・脚」、「関節」のボタンから選択してください。

動作モードを組み合わせてメモリー登録を行うと、ご自分専用の「もみ味」を体感できる「マイメモリー」モードが選択できます。

(2) 手動選択 (詳しくは25ページをご覧ください。)

お好みにあわせて、「たたく」、「もむ」、「おす」、「パイプ」、「さざなみ」、「うねり」、「キアズマ」の7つの動作モードがあります。

機能ボタンを押して選択してください。

治療途中で機能の動作モードを切り替えると、色々な動作モードが体感できます。

●温熱治療 (詳しくは31ページをご覧ください。)

温熱効果により治療したい部位を温めて治療します。

温熱ボタンを押してください。

●低周波治療と温熱治療の交互治療 (詳しくは32ページをご覧ください。)

低周波治療と温熱治療を交互に行うことができます。

低周波治療中に「温熱」、温熱治療中に「自動コース」の選択ボタンまたは「機能」のいずれかのボタンを押してください。

人体検知機能の採用

本器は治療導子を同時に2ヵ所使用できますが、人体検知機能により2人が同時に使用することはできない構造となっています。

温熱マットの場合

●温熱治療 (詳しくは33ページをご覧ください。)

温熱効果により治療したい部位を温めて治療します。

温熱マット入/切ボタンを押してください。

治療導子の貼りつけ例

「肩」の治療

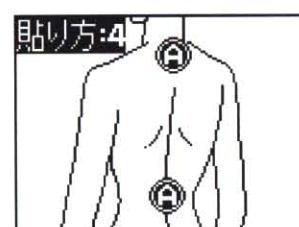


肩こり治療の場合は、肩こりのある部位に背骨を中心に左右対象に貼るのがより効果的です。

「背」の治療

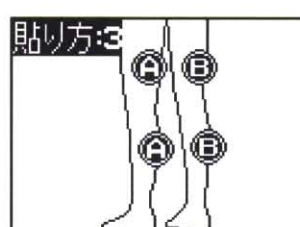


「腰」の治療



腰治療の場合は、痛みのある部位に背骨を中心に左右対象に貼るのがより効果的です。

「腕・脚」の治療



治療をしたい部位を、筋肉の流れに添ってはさむように貼るのがより効果的です。

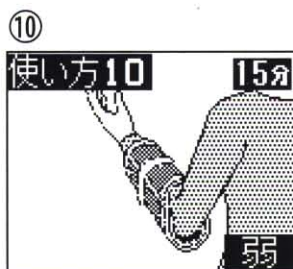
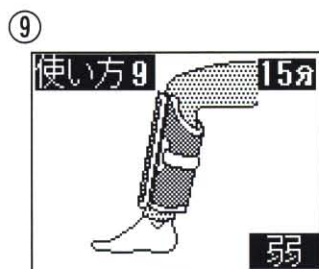
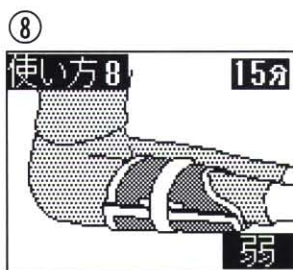
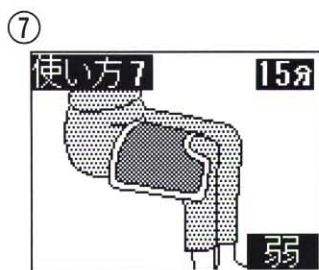
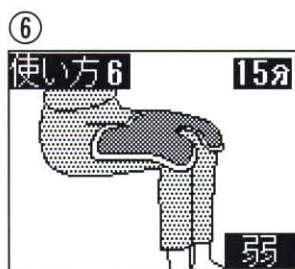
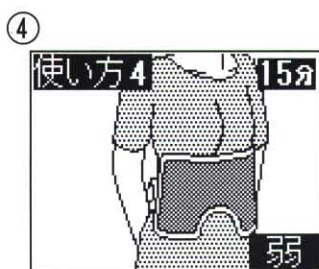
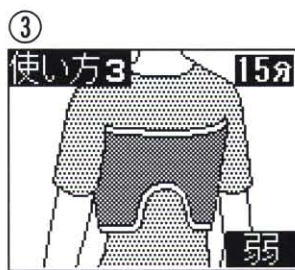
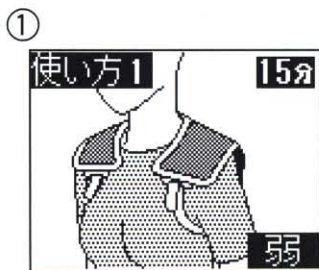
「関節」の治療



関節治療の場合は、痛みのある関節をはさむように貼るのがより効果的です。

温熱マットの使用例

- 温熱マットを治療したい部位に掛けるか当てて固定バンドで固定します。



👍 ①,③,④,⑤,⑧,⑨,⑩
の部位で治療をする場合は、
固定バンドをご使用ください。

⚠️ 注意

素肌に直接当てて使用しないでください。
やけどや低温やけどを起す恐れがあります。

操作パネルの機能

治療導子と温熱マットの共通機能

お知らせ

ボタンの操作音	受け入れた場合は「ピッ」と単音が鳴ります。
	受け入れできない場合は「ピピピッ」と連続音で警告します。

●電源入/切ボタンで電源を「入」・「切」します。

- 電源を入れると待機状態になり表示パネルに画面表示をします。
- 何も操作しない状態が5分間続きますと、自動的に電源が切れるオートオフ機能がついています。

電源

入切

●一時停止ボタンですべての機能が一時停止します。再度ボタンを押すと一時停止機能は解除されます。

電源入/切ボタンと開始/停止ボタンは一時停止できません。

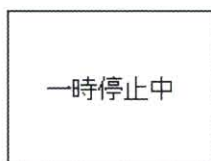
- 一時停止中は、タイマーはカウントされません。
- 自動コースで治療導子の貼りつけ方を液晶画面で確認する場合に「一時停止」ボタンで画面を停止させることができます。

一時停止



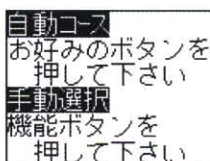
一時停止状態が5分間続くと初期画面にもどります。

(画面表示)



(5分間点滅)

(画面表示)



●ロックボタンを押すと操作パネルの操作ができません。

再度ボタンを押すとロックは解除されます。

- 電源入/切ボタンと開始/停止ボタンはロックできません。

(画面表示)



(画面表示)



(画面表示)

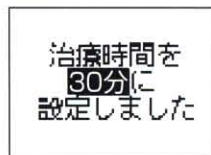


ロック表示解除すると消えます。

●15分/30分ボタンで動作時間の切り替えができます。

- 通常は、15分に設定されています。

(画面表示)



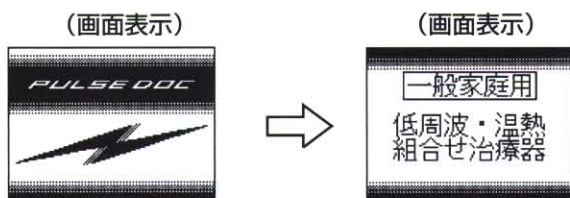
で注意

- 使用中で設定時間を切り替えても最大30分で停止します。

使いかた

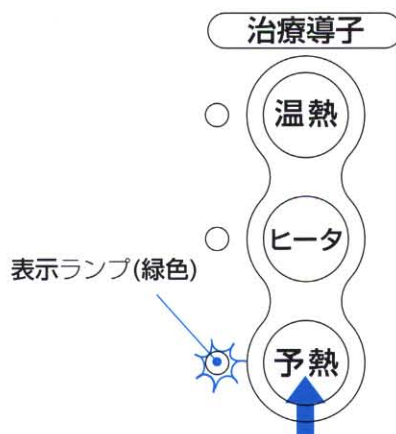
治療導子によるヒータと予熱機能

1 電源入/切ボタンを押して、電源を入れます。



2 予熱ボタンを押すと表示ランプが点灯し、身体に貼りつける前に治療導子を温めることができます。

「予熱」は約40秒間行います。40秒を過ぎると予熱を完了します。
また、「予熱」は身体に治療導子を貼った時点で終了します。

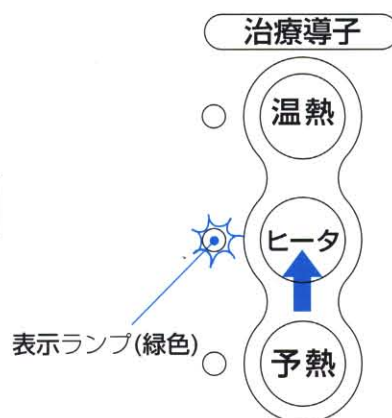


3 ヒータボタンを押すと表示ランプが点灯し、治療導子を温めます。

● 暖かい治療導子で低周波治療がご使用になれます。

ご注意

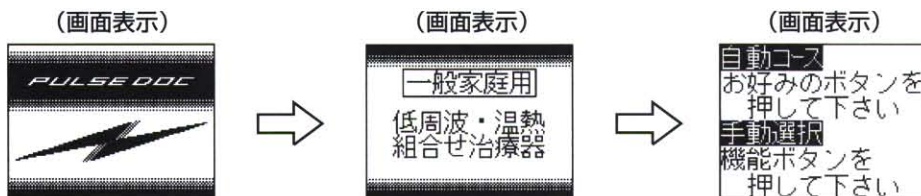
治療導子は身体に貼りつけないと暖かくなりません。



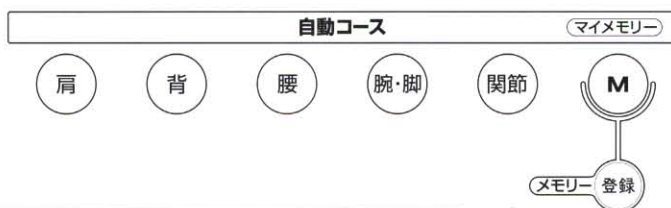
自動コースの使いかた



- 1 電源入/切ボタンを押して、電源を入れます。



- 2 自動コースを選びます。
「肩」・「背」・「腰」・「腕・脚」・「関節」
・「マイメモリー」の中からお好みのボタンを押してコースを選びます。



ご注意

本器をご購入されたときは「マイメモリー」機能が登録されていません。
未登録のままマイメモリー「M」ボタンを押すと警告音が鳴ります。
「マイメモリー」のメモリー登録とは手動選択で組み合わせた動作モードをそのまま登録することです。
使い方は29ページの「マイメモリーを使う」をご覧ください。

- 3 治療導子の貼り方を確認します。

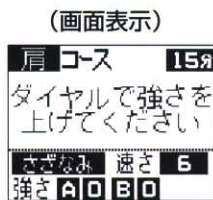
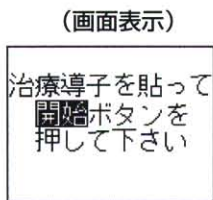
- ① 液晶表示部に治療導子の貼り方が順次表示されます。
- ② 必要に応じて治療導子を貼り替えてください。
- ③ 液晶画面は自動的に切り替わりますので、見たい画面は一時停止ボタンを押してください。
- ④ 貼り方の画面表示をもう一度見たいときは、再度「自動コース」の選択ボタンを押してください。



治療導子による低周波治療機能(自動コース)

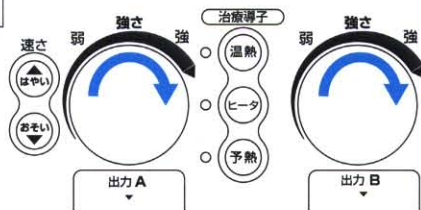
4 開始/停止ボタンを押して治療を開始します。

- 出力強さ調節ダイヤルを操作しないと治療できません。



- 出力強さ調節ダイヤルをお好みに合わせ、ゆっくり回して強さを調節します。

急激な刺激を受けないように強さはゼロからのスタートです。
(強さは10段階で表示しますが、表示の間には中間強さがあります。)
ご使用の都度、強さを調節してください。



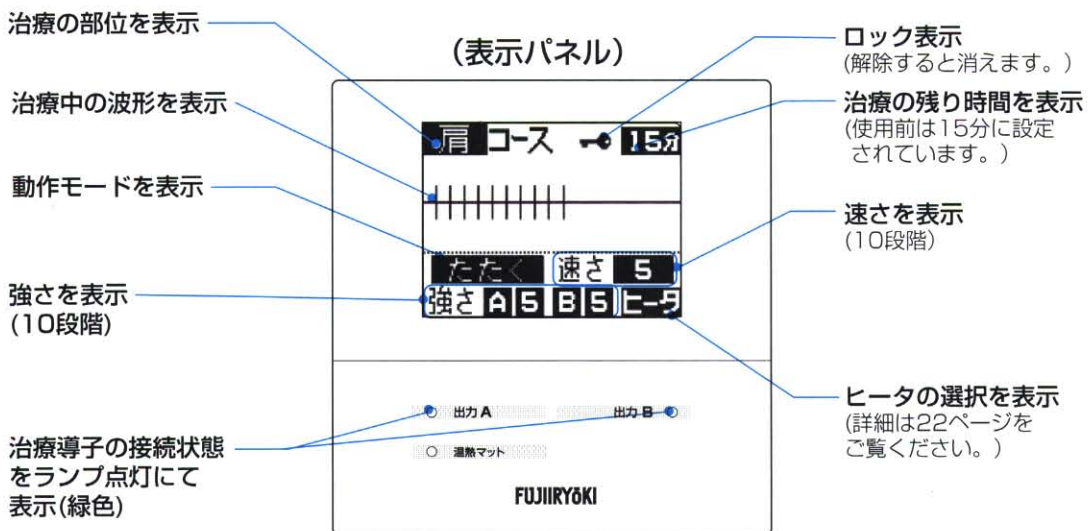
ご注意

- 動作モード、速度、極性は、自動的にプログラムされていますので、操作できません。
- 治療時間は、通常15分に設定されています。
30分に切り替える場合は、「15分/30分」ボタンを押して切り替えてください。

⚠ 注意

強さの調整はむやみに強くし過ぎないでください。
皮膚を過剰に刺激し、ヒリヒリしたり、赤くなることがあります。

治療中の自動コース画面表示例



手動選択の使いかた

- 1 電源入/切ボタンを押して電源を入れます。

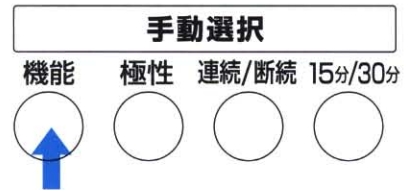


- 2 機能ボタンを押して、動作モードを選びます。

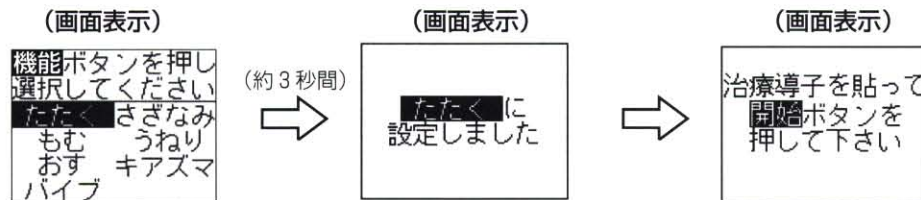
機能ボタンは押すたびに

「たたく」→「もむ」→「おす」→「パイプ」
 ↑
 「キアズマ」←「うねり」←「さざなみ」 ←

の順に動作モードが切り替わります。



- 約3秒間、機能ボタンを押さないでいますと、自動的に動作モードが決定します。



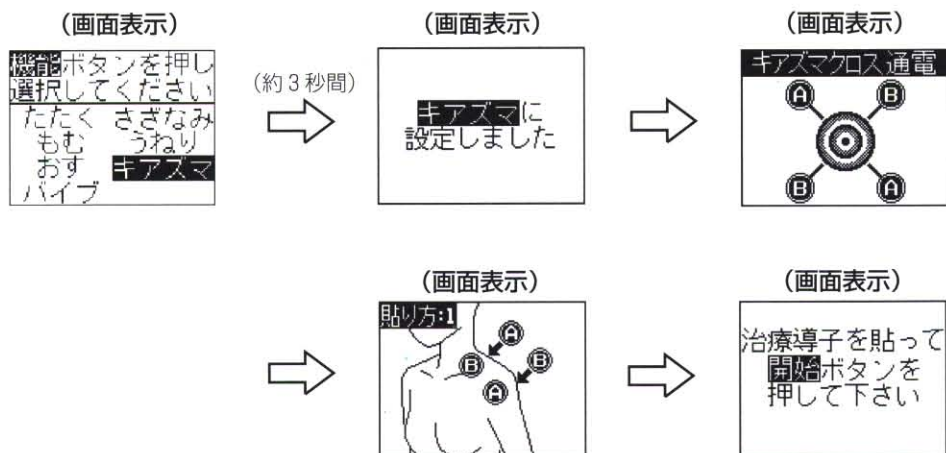
治療導子による低周波治療機能(手動選択)

— 「キアズマ」で使用する場合 —

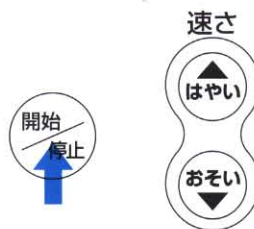
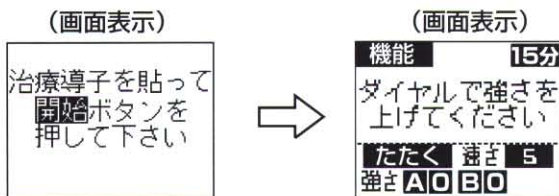
「キアズマ」を選択し、治療導子が出力AまたはBの片方のみ接続されている場合は、「キアズマ」波形により治療を行います。



「キアズマ」を選択し、治療導子が出力AとBの両方に接続されている場合は、キアズマクロス通電によりメリハリの効いたもみ刺激感が得られます。キアズマクロス通電の場合は、表示パネルに治療導子の貼りつけ例が表示されます。



3 開始/停止ボタンを押して、治療を開始します。



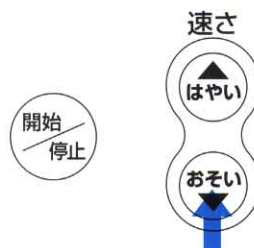
- ① 出力強さ調節ダイヤルはお好みに合わせ、ゆっくり回して強さを調節します。

急激な刺激を受けないように強さはゼロからのスタートです。
(強さは10段階で表示しますが、表示の間には中間強さがあります。)
ご使用の都度、強さを調節してください。



- ② 速さボタンを押して、お好みの速さに調整します。
• 通常は、10段階の5に設定されています。

- ③ 使用中でも機能ボタンを押すと、動作モードの切り替えができます。
出力の強さはソフトスタート機能により段階的に切り替え前の強さになります。



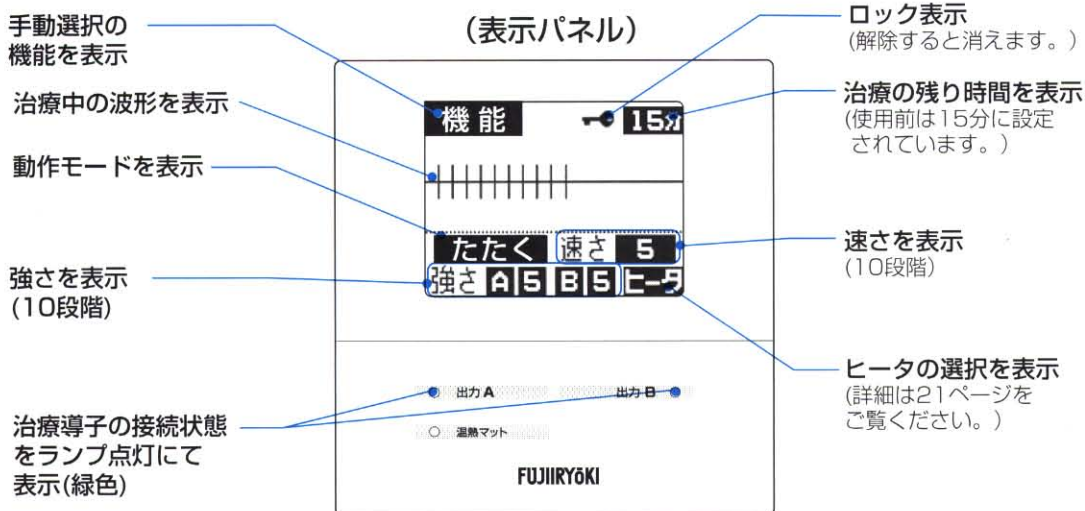
⚠ 注意

強さの調整はむやみに強くし過ぎないでください。
皮膚を過剰に刺激し、ヒリヒリしたり、赤くなることがあります。

ご注意

- 治療時間は、通常15分に設定されています。
30分に切り替える場合は、「15分/30分」ボタンを押して切り替えてください。

治療中の手動選択画面表示例



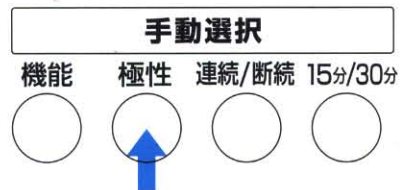
治療導子による低周波治療機能(手動選択)

4 使用中に極性ボタンを押すと極性の切り替えができます。

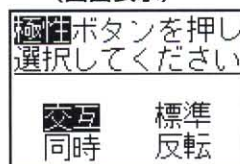
極性ボタンは押すごとに「交互」→「同時」→「標準」→「反転」

の順に極性の種類が替わります。

- 通常は、「交互」に設定されています。
- 約2秒間、極性ボタンを押さないでいますと、自動的に表示の極性に替わります。



(画面表示)



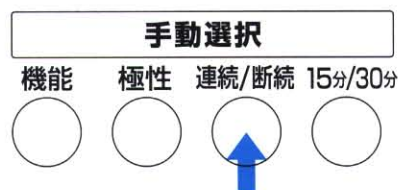
極性を切り替えることにより治療導子貼りつけ部分の体感が変わります。
(治療導子には⊕極と⊖極を表示しています。)

極性の種類

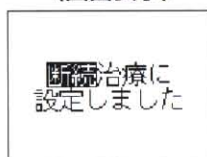
- 交互……「標準」と「反転」を交互にくり返します。
- 同時……極性に関係なく⊖極と⊕極の両方の治療導子が強く感じられます。
- 標準……特に治療をしたい部位に治療導子の⊖極を貼りつけます。治療導子は、⊖極の方が強く感じられます。
- 反転……治療導子の⊖極と⊕極が逆になります。治療導子を貼り替えなくて逆極性の治療ができます。

5 使用中に連続/断続ボタンを押すたびに連続と断続が切り替わります。

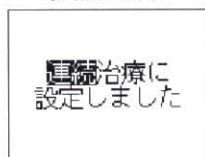
- 通常は、「連続」に設定されています。
- 連続/断続ボタンを押して約3秒後に自動的に表示の設定に替わります。



(画面表示)



(画面表示)



「断続」に切り替えると、治療が断続的に行われ筋肉の疲労回復に有効です。

マイメモリーの登録

手動選択で自由に組み合わせた動作を登録することによりオリジナルの治療コースを記憶してくり返し使用することができます。

■「マイメモリー」の登録方法

- 25ページの「手動選択の使いかた」により自由な動作モードを組み合わせて使用します。
 - 動作時間は30分の範囲内で登録できます。
15分以上の登録は、15/30分ボタンを押して30分に切り替えてください。
 - メモリー登録が動作時間(15分または30分)の範囲内であれば、設定パターンをくり返します。

ご注意

動作モードは、それぞれ10秒以上使用してください。
(10秒未満の登録はできません)

- 治療が終了したとき、または開始/停止ボタンを押して治療を中止した後でメモリー登録ボタンを押すと「マイメモリー」の設定が完了します。



使いかた

— 使用例 —

① パターンの設定(1)

- 機能ボタンを押す
- 動作モードを選択する
(例：たたく)
- 開始/停止ボタンを押す
- 出力強さを(5)に調整する
治療開始：「たたく」

• 「たたく」動作：4分間

② パターンの設定(2)

- 機能ボタンを押す
- 動作モードを選択する
(例：もむ)
- 出力強さを(7)に調整する
- 治療開始：「もむ」
- 速さを調整する(3)
- 極性ボタンを押して選択
：反転

• 「もむ」動作：5分間

③ パターンの設定(3)

- 機能ボタンを押す
- 動作モードを選択する
(例：おす)
- 出力強さは調整しない(7)
- 治療開始：「おす」
- 速さを調整する(7)
- 極性ボタンを押して選択
：同時

• 「おす」動作：6分間

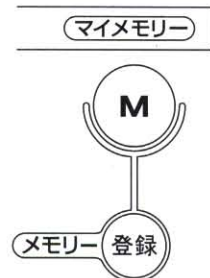
- 開始/停止ボタンを押します。
(設定時間が終了した場合は、ボタンを押す必要がありません。)
- メモリー登録ボタンを押します。
(5分以内に登録しないと、オートオフ機能により電源が切れて登録できません。)
- マイメモリーに
登録された
動作モード

(1)「たたく」	4分間	・(強さ)0	・(極性)交互	・(速さ)5
(2)「もむ」	5分間	・(強さ)0	・(極性)反転	・(速さ)3
(3)「おす」	6分間	・(強さ)0	・(極性)同時	・(速さ)7

動作時間が30分の場合はパターン設定(1)から(3)をもう一度くり返します。

ご注意

出力強さはメモリー登録できません。ご使用の都度調節してください。



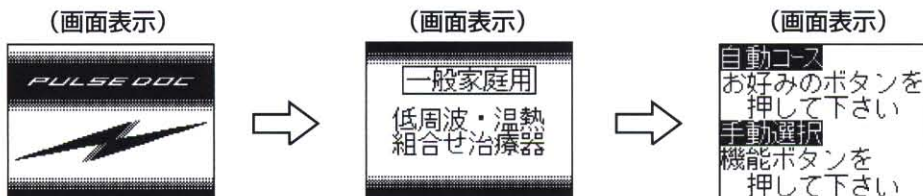
■「マイメモリー」の登録変更

登録パターンの変更は、新しいパターンを設定してメモリー登録します。
この場合、前回登録のパターン設定はすべて消えます。

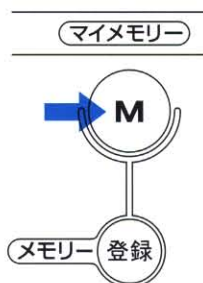
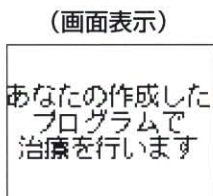
マイメモリーを使う (温熱マット機能には使用できません)

マイメモリーの使いかた

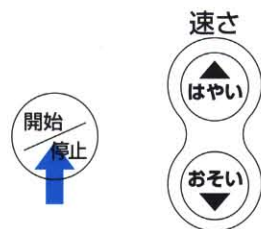
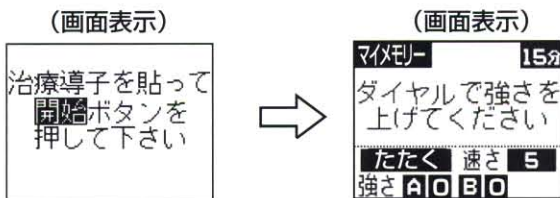
- 1 電源入/切ボタンを押して、電源を入れます。



- 2 マイメモリー「M」ボタンを押します。

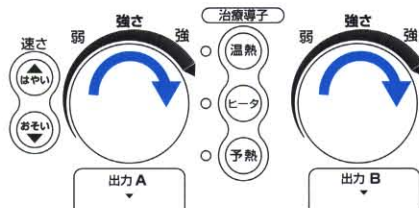


- 3 開始/停止ボタンを押して、治療を開始します。



- ① 出力強さ調節ダイヤルはお好みに合わせ、ゆっくり回して強さを調節します。

急激な刺激を受けないように強さはゼロからのスタートです。
(強さは10段階で表示しますが、表示の間には中間強さがあります。)
ご使用の都度、強さを調節してください。

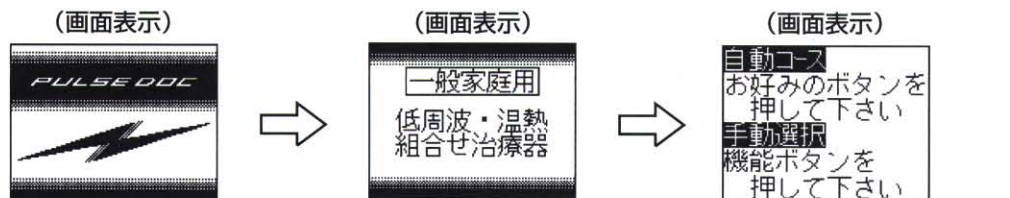


ご注意

- マイメモリー機能は治療導子の「出力強さ」、「自動コース」、「温熱」、「ヒータ」および温熱マットでの「温熱治療」のメモリー登録はできません。
- 出力強さ調節ダイヤルで強さを調節したとき、登録されている動作モードはすべて同じ強さ目盛りになりますので動作が変わったときに、ダイヤルを回して、強さを調節してください。
- 「極性」、「連続/断続」、「速さ」はメモリー登録されていますので操作できません。

治療導子による温熱治療機能

1 電源入/切ボタンを押して、電源を入れます。

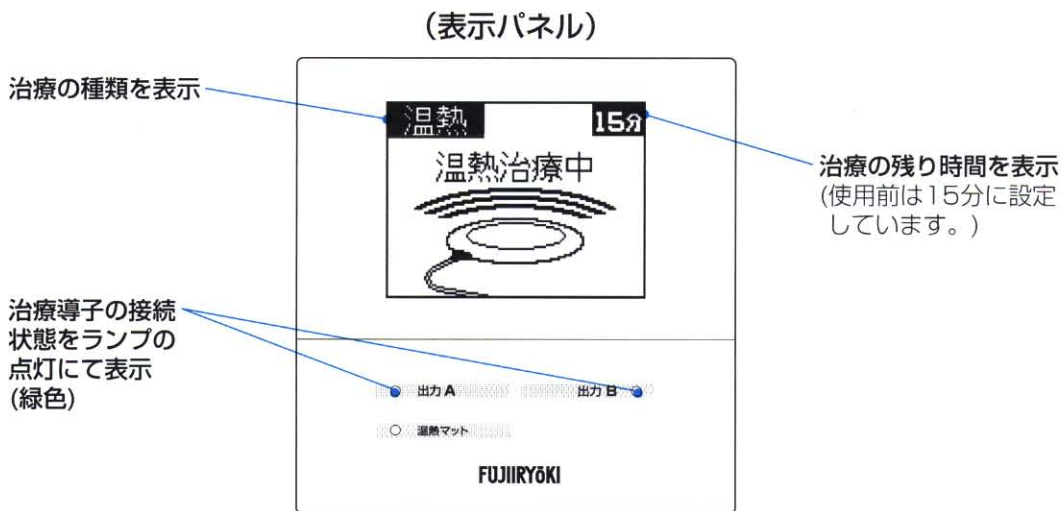
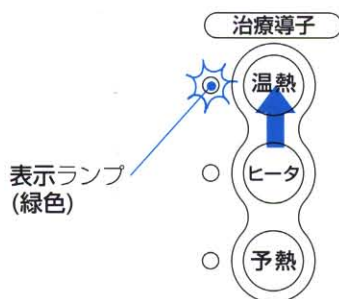


2 温熱ボタンを押すと表示ランプが点灯して温熱治療を開始します。

- 治療導子を身体に貼りつけていないと温度があがりません。警告音と表示パネルでお知らせします。

ご注意

温熱の温度は変更することができません。



警告

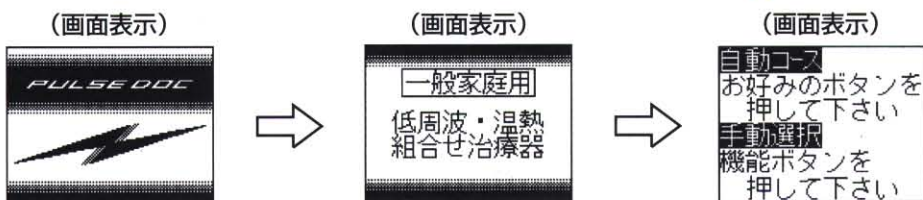
やけどや低温やけどを起こす可能性がありますので、次のことを守ってください。

- 連続して同一の部位に30分以上使用しないでください。
- 治療導子を付けた部位を押さえないでください。
- 「熱い」と感じたときは、すぐに治療導子をはずしてください。
- 治療導子を貼りつけたまま、タオル等を巻きつけたり、毛布や布団の中で使用するなど熱のこもる状態で使用しないでください。
- 温熱治療中に電源を入/切しないでください。

治療導子による低周波治療と温熱治療の交互治療機能

- 低周波治療中に「温熱」、温熱治療中に「自動コース」の選択ボタンまたは「機能」のいずれかのボタンを押すと低周波治療と温熱治療の交互治療がスタートします。
- 交互治療の動作は、低周波治療の約50秒間と温熱治療の約10秒間を1サイクルとしてくり返します。
温熱治療を始めると初期加熱に約40秒間必要です。

1 電源入/切ボタンを押して、電源を入れます。



2 使用する種類を選びます。

自動コースから交互治療を行う

- ① 自動コースで種類を選びます。(23~24ページをご覧ください。)
- ② 温熱ボタンを押します。

使用中再度、温熱ボタンを押すと温熱治療は解除され低周波治療の自動コースに戻ります。

手動選択から交互治療を行う

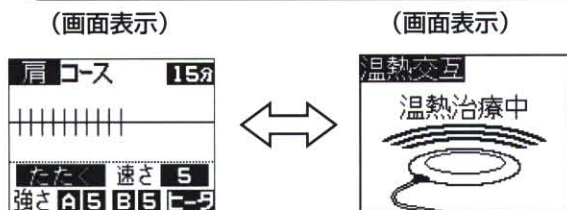
- ① 手動選択の機能ボタンで動作モードを選びます。(25~28ページをご覧ください。)
- ② 温熱ボタンを押します。

使用中再度、温熱ボタンを押すと温熱治療は解除され低周波治療の設定モードに戻ります。

温熱治療から交互治療を行う (温熱マットからの交互治療はできません)

- ① 温熱ボタンを押します。(31ページをご覧ください。)
- ② 自動コースまたは、手動選択で低周波治療を選びます。

使用中再度、温熱ボタンを押しても温熱治療には戻れません。
温熱治療のみを行いたいときは、開始/停止ボタンを押して再度、温熱ボタンを押してください。

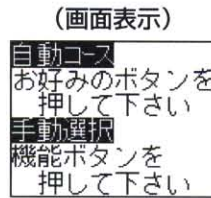
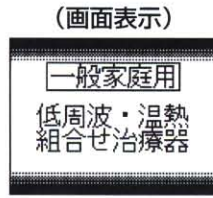


ご注意

交互治療中は「連続/断続」の操作ができません。連続/断続ボタンを押すと警告音が鳴ります。

交互治療中は画面表示が切り替わります。

1 電源入/切ボタンを押して、電源を入れます。



2 温熱マットの入/切ボタンを押すと通電ランプが点灯して温熱治療を開始します。



通電ランプ (緑色)



ご注意

温熱マット使用中は治療導子での治療はできません。

治療導子で低周波治療や温熱治療をしたいときは、温熱マットの入/切ボタンを押して温熱マットでの治療を終了させてください。

治療導子使用中は温熱マットでの治療はできません。

温熱マットで治療をしたいときは、操作パネルの開始/停止ボタンを押して治療導子での治療を終了させてください。

3 温熱マットのあて方を確認します。

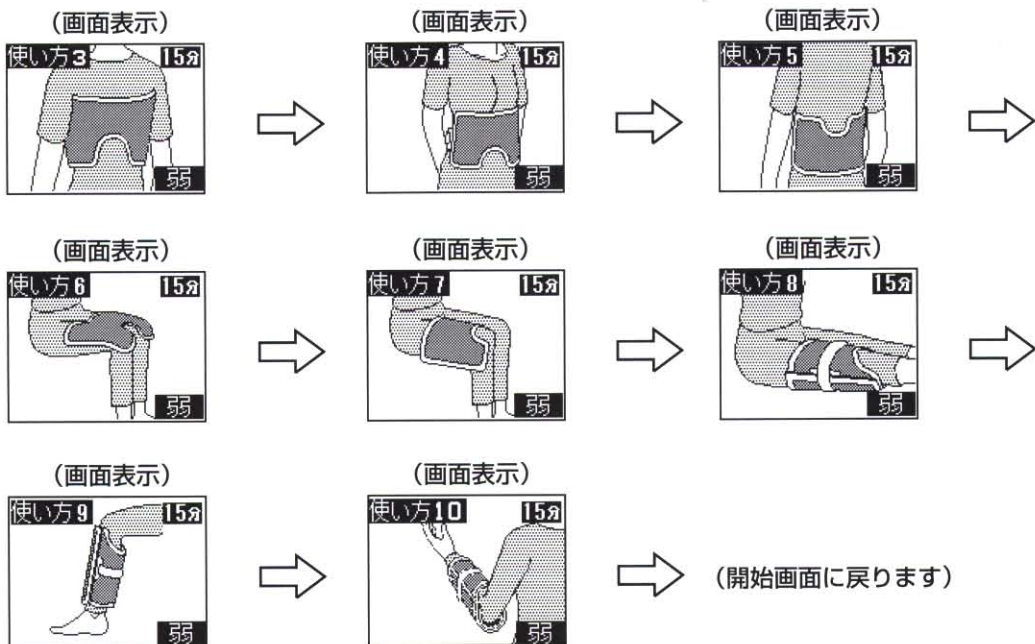
- ① 液晶表示部に温熱マットのあて方が順次表示されます。
- ② 必要に応じて温熱マットの位置を変えてください。
- ③ 液晶画面は自動的に切り替わります。



使いかた

温熱マットによる温熱治療機能

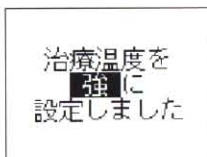
使いかた



4 弱/強ボタンで治療温度の切り替えができます。

- 通常は弱に設定されています。

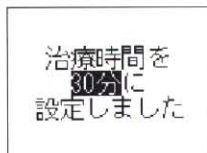
(画面表示)



5 15分/30分ボタンで動作時間の切り替えができます。

- 通常は15分に設定されています。

(画面表示)



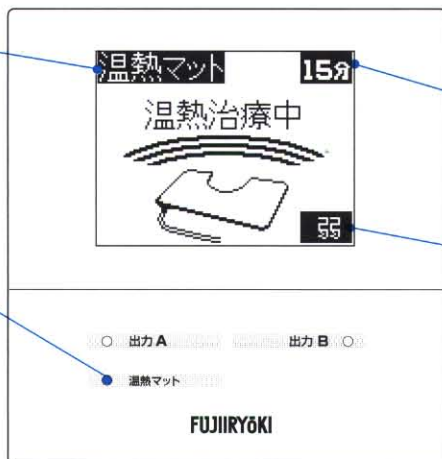
ご注意

使用途中で設定時間を切り替えても最大30分で終了します。

(表示パネル)

治療の種類を表示

温熱マットの接続
状態をランプの
点灯にて表示
(緑色)



治療の残り時間を表示
(使用前は15分に設定
しています。)

治療温度の強さを表示
(通常は弱に設定して
います。)

やけどや低温やけどを起こす可能性がありますので、次のことを守ってください。

⚠ 警告



- 連続して同一の部位に30分以上使用しないでください。
- 「熱い」と感じたときは、すぐに温熱マットをはずしてください。
- 温熱マットをつけたまま、タオル等を巻きつけたり、毛布や布団の中で使用するなど熱のこもる状態で使用しないでください。
- 温熱治療中に電源を入/切しないでください。
- マットカバーが破れている状態で使用しないでください。

⚠ 注意



- マットカバーから取り出したヒータユニットだけでの使用はしないでください。
- アイロンは使用しないでください。
- 温熱マットを体に強くしぼりすぎないでください。
- 素肌に直接当てて使用しないでください。

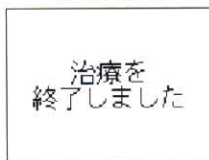
治療が終わったら

1 電源を切ります。

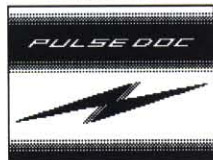
治療が終わったときは、液晶画面に治療終了が表示され、スタート画面になります。

- 電源入/切ボタンを押して、液晶画面が消えるのを確認してから電源プラグをコンセントから抜いてください。

(画面表示)



(画面表示)



電源プラグ



電源コード

オートオフ機能

治療が終わった後、操作をしないで約5分経過すると自動的に電源が切れます。

2 治療導子の粘着パッドまたは温熱マットを身体からはずします。

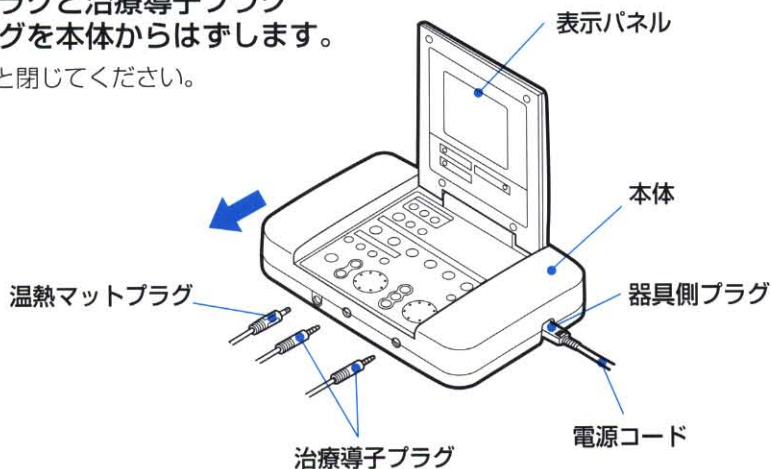
- 身体からはずした治療導子は粘着パッドの粘着力が劣化しないよう治療導子コードリールに貼りつけてください。

ご注意

- 治療導子のコードを引っ張らないで、ゆっくりと身体から剥がしてください。
- 粘着面を触らないようにしてください。

3 電源コードの器具側プラグと治療導子プラグまたは温熱マットプラグを本体からはずします。

- 表示パネルは、ゆっくりと閉じてください。



1 粘着パッドのお手入れ

- 粘着パッドの粘着力が低下したときは、汚れをとり水分を与えます。

- ① 水をしみこませた布で粘着面を湿らせ汚れをふき取ります。
 - 水分を与えすぎると粘着力が弱くなります。

ご注意

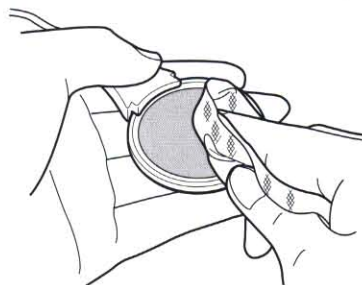
- 水洗いはしないでください。
- 電極には水をつけないでください。

- ② 約5分程度放置すると一時的に粘着力が回復します。
- ③ 粘着力が回復しない場合は新しいものと交換してください。
 - 交換の目安は、使用時の皮膚の状態や個人差で異なりますが約30回使用後です。

お知らせ

- ご使用中、地肌からの汗や汚れの付着により粘着パッドの表面が変色する場合がありますが、性能には支障はありません。

粘着パッドは消耗品です。別売品(NP-01)をお求めください。
(NP-01：粘着パッド 4枚入り)



2 粘着パッドの保存

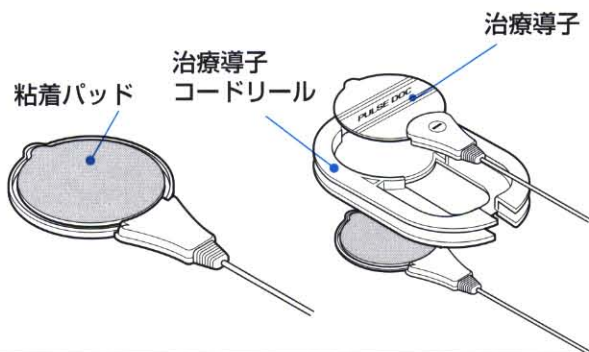
交換用の粘着パッドは、高温多湿、直射日光のあたる場所には置かないでください。

3 治療導子の粘着パッド部を治療導子コードリールに位置を合わせ貼りつけます。

- 粘着パッドから剥がしたフィルムは貼りつけしないでください。

ご注意

治療導子は水洗いできませんので、濡れたタオルや布等で汚れや油分をふき取ってください。



4 治療導子のコードを治療導子コードリールに巻きつけ、治療導子プラグを固定します。

- 治療導子のコードは強く引っ張ったり、強く巻かないでください。コードの断線につながります。

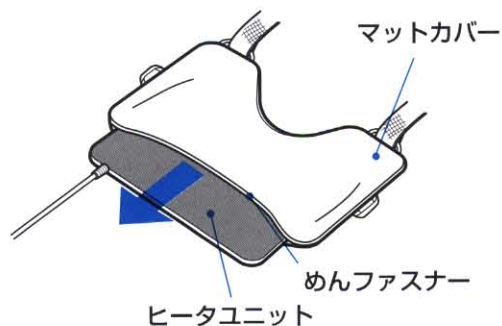


この部分に治療導子プラグを押し込んで固定します。

お手入れと保存

5 温熱マットのお手入れ

- ① 固定バンドをはずしてマットカバーのめんファスナーを開き、ヒータユニットを取り出します。



- ② マットカバーを手洗います。

● 洗濯の取り扱いは次の記号にしたがってください。

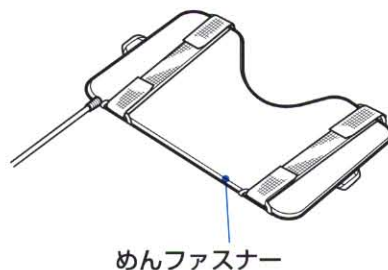
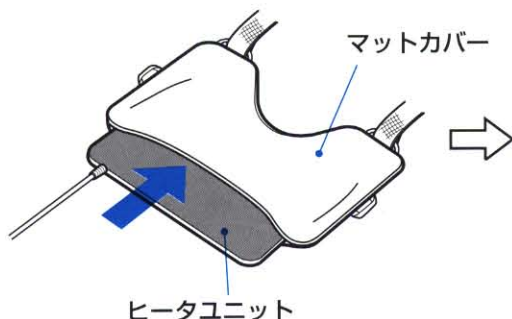


ご注意

ヒータユニットは水洗いできません。
必ずマットカバーから取り出し、水のかからない場所に置いてください。

- ③ ヒータユニットをマットカバーに入れめんファスナーをしっかりと止めます。

● マットカバーは乾燥させてから取りつけてください。湿ったまま使用しますと故障の原因になります。



警告

やけどの恐れ。
必ず専用のマットカバーに入れて
ご使用ください。

6 本体のお手入れ

本体の汚れは、水またはぬるま湯に浸して固く絞った布でふき取ります。

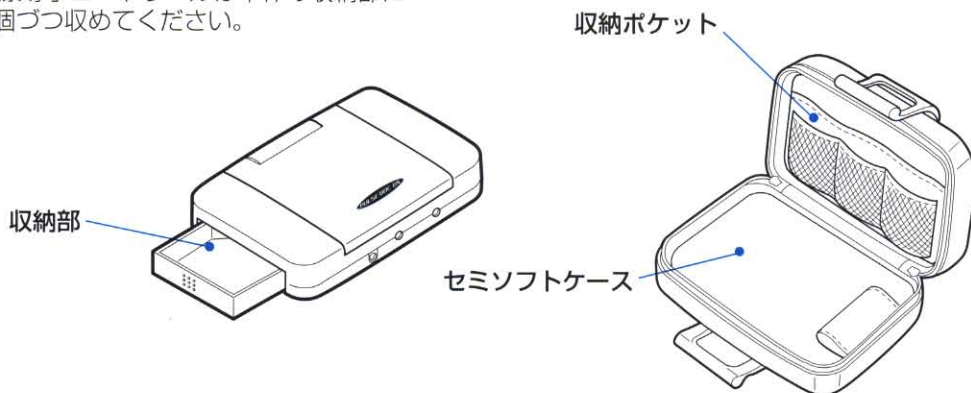
- 汚れがひどいときは、薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませた布でふき取った後、乾いた布で洗剤が残らないようによくふき取ってください。



7 治療導子コードリールは本体の収納部またはセミソフトケースの収納ポケットに収めて保存します。

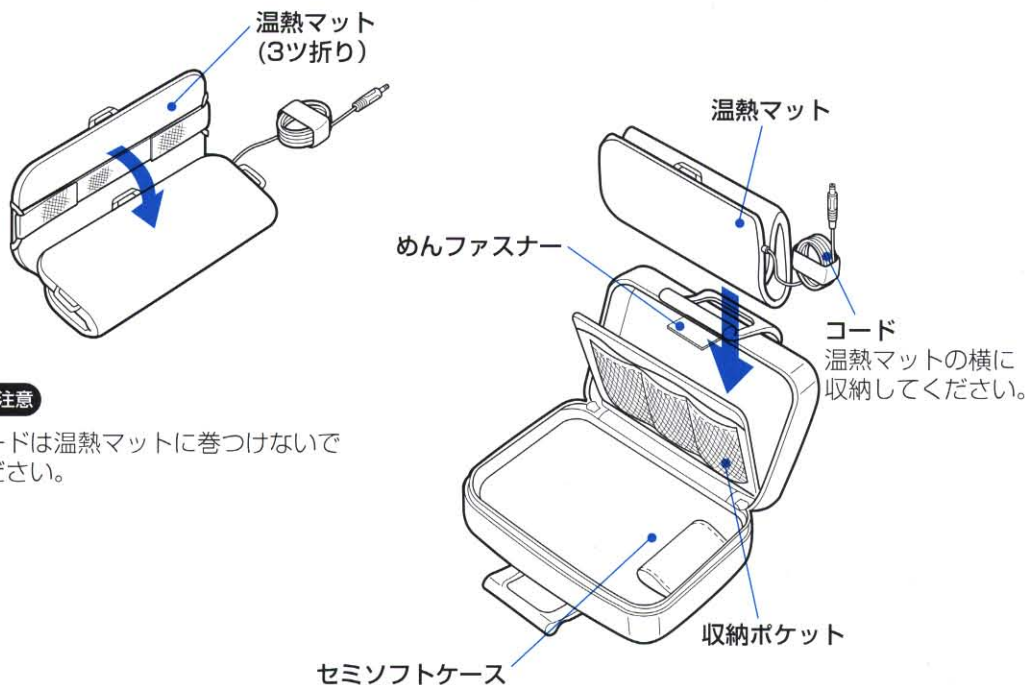
お願い

- 治療導子コードリールは本体の収納部に1個ずつ収めてください。



8 温熱マットは3ツ折りにしてセミソフトケースの収納ポケット内側に収めて保存します。

収納ポケット部はめんファスナーで固定し、内側に閉じます。



ご注意

コードは温熱マットに巻つけないでください。

故障かな？と思ったら

こんなとき	考えられる原因と処置	参照ページ
電源入/切ボタンを押しても液晶画面が表示しない	電源コードの電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ⇒プラグを根元まで差し込んでください。	14
	電源コードの器具側プラグがACアダプターの差込口から抜けていませんか。 ⇒電源コードの器具側プラグを根元まで差し込んでください。	14
	ACアダプターのプラグが本体から抜けていませんか。 ⇒ACアダプターのプラグを根元まで差し込んでください。	14
治療導子の刺激がない 治療導子の刺激が弱い	出力強さがゼロになっていませんか。 ⇒ダイヤルをゆっくりと回し強さを調節してください。	24
	治療導子のプラグが抜けていませんか。 ⇒プラグを本体出力ジャック差込口の根元まで差し込んでください。	14
	治療導子の片方が身体からはずれていませんか。 ⇒貼りなおしてください。	15
	出力されている治療導子と貼りつけている治療導子が間違っていますか。(出力Aは左、出力Bは右の出力強さダイヤルです) ⇒治療導子の接続を確認する。	24
	2つの粘着パッドが接触したり重なっていませんか。 ⇒一度電源を切り、重ならないよう位置をずらしてください。	18.19
	2人で使用していませんか。人体検知機能により2人同時の使用はできません。 ⇒1人で使用してください。	17
治療導子の刺激がとぎれる	動作表示が「断続」になっていませんか。 ⇒連続にしたい場合は連続/断続ボタンを押して切り替えてください。	28
	治療導子のコードに亀裂や破損がありませんか。 ⇒使用を中止し新しい治療導子をお求めください。	14
治療導子の粘着パッドが身体に貼りつかない。	治療導子の粘着パッドに貼られている透明フィルムが剥がされていますか。 ⇒粘着パッドの透明フィルムを剥がしてください。	13
	粘着パッドの表面が汚れている。 ⇒水をしみこませた布で表面をふいて約5分程度放置してください。汚れをふき取っても回復しない場合は新しいものと交換してください。 ※水洗いはしないでください。	37
治療導子のヒータで暖まらない 治療導子の温熱で暖まらない	治療導子を身体に貼りつけていますか。 ⇒治療導子を身体に貼りつけていないと機能しません。	22.31
治療導子の予熱ができない	治療導子を身体からはずしていませんか。 ⇒治療導子を身体に貼りつけていますと予熱できません。	22

こんなとき	考えられる原因と処置	参照ページ
温熱マットが暖まらない	温熱マットプラグが抜けていませんか。 ⇒温熱マットプラグを本体のジャックに差し込んでください。	14
	温熱マットの通電ランプが消えていませんか。 ⇒温熱マットの「入/切」ボタンを押してください。	33
肌が赤くなる 肌がチクチクする	使用の時間が長過ぎませんか。 ⇒同一部位の使用は間隔をあけてください。	5
	刺激が強過ぎる。 ⇒体調に合わせた強さの設定を行ってください。	24.27
	粘着パッドが傷んでいませんか。 ⇒粘着パッドは消耗品です。新しいものと交換してください。	13

以上のことをお調べになり、それでも具合の悪い場合は、ご自分で修理なさらないで、ご購入先または、お近くのフジ医療器サービス網に連絡してください。

アフターサービスと保証

＜保証書＞(別に添付してあります。)

お買い上げの際に、保証書をご購入先からお受け取りになり、「お買い上げ日」・「ご購入先名」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みになり、大切に保存してください。

● 保証

お客様の正常なご使用にもかかわらず、万一故障が生じた場合には、保証書裏面の保証規定内容により、お買い上げの日から1年間は無料修理いたします。

● 有償修理を依頼される場合

お買い上げ日より1年を経過した場合や、保証規定以外の修理は、有償修理となります。修理が必要な場合は、ご購入先またはお近くのフジ医療器サービス網までご連絡ください。

● 補修用機能部品の保有期間

本製品の補修用機能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用機能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 故障が発生した場合や異常を感じた場合

ご使用の製品が故障したり、異常を感じた場合は、すみやかに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

次にご購入先または、お近くのフジ医療器サービス網まで、「製品の品番：PD-M68」・「故障や異常の具体的な症状」・「保証の有無」・「ご自宅の住所・電話番号」などをご連絡ください。

仕 様

一般名称	組合せ家庭用電気治療器(低周波治療器・温熱治療器)	
品 名	パルスドック	
品 番	PD-M68	
電源電圧	ACアダプター 入力電圧：AC100-240V，出力電圧：DC24V	
消費電力 (AC100V)	約65W (温熱マット「強」のとき) 約30W (治療導子「温熱機能」のとき)	
治療導子の発振周波数	約1～1200Hz	
温熱マットの表面温度 ^(※1)	「弱」：約50℃、「強」：約60℃	
タイマー設定時間	15分/30分	
寸法	本体	幅約295mm×奥行約190mm×高さ約57mm
	温熱マット	長さ約530mm×幅約330mm×厚さ約15mm
質量	本体	約1.3kg(ACアダプター含む)
	温熱マット	約1.0kg
電源コードの長さ	約1.9m	
安全装置	<ul style="list-style-type: none"> ●使用時間設定タイマーが内蔵されており15分または30分を経過すると出力を自動的に停止します。 ●低周波治療をお使いの場合、電源を入れた時の急激な刺激を防止するため常に出力強さはゼロです。 ●人体検知機能により2人が同時に使用できません。 ●温熱マット(ヒータユニット部) サーモスタット：3個 温度ヒューズ：3個 	
付属品	粘着パッド4枚入り(2個)、治療導子コードリール(2個)、セミソフトケース	
別売品	粘着パッド4枚入り(NP-01)	

※1 (社)日本ホームヘルス機器工業会で定めた測定方法による。

お客様相談窓口

☎ フリーダイヤル

0120-027612

受付：月曜～金曜 午前10時～12時
午後 1時～ 5時

※但し、祝祭日は休ませていただきます。

FAX・E-mailでの受付も行っております。

FAX番号：06-4793-0622

E-mail：fj_soudansitu@fujiiryo.co.jp

※FAX・E-mailでの受付は24時間行っておりますが、お客様へのご連絡はフリーダイヤルの受付時間となります。

お客様へ…ご購入年月日・ご購入店名を記入されると便利です。

ご購入年月日	年	月	日
ご購入店名	TEL		



美と健康の総合メーカー
株式会社 **フジ医療器**